

## グローバル探究Ⅲ（3年生）の取組

### 「リサーチペーパー（個人論文）」作成開始！

新年度に入り3年生は、下記のどちらかのテーマを設定して、個人でリサーチペーパーを執筆することになりました。

**パターン①：1、2年次に探究した内容を深める。**

**パターン②：自身の進路や興味に基づいた分野の内容。**



また、普通科理型クラスは2000字以上、普通科文型・英語科クラスは3000字以上という字数規定のもと、執筆を行っていきます。

#### 【第1回 ガイダンス】

4月12日（火）にガイダンスを行いました。年間の流れと、グローバル探究Ⅲのメインとなるリサーチペーパー作成についての説明を聞きました。このリサーチペーパーは自身のこれまでの探究活動を論文化するものです。それに伴い、進路指導部の山岡先生や、国語科の松田



先生から執筆にあたっての重要事項等の話がありました。進路に直結する分野について執筆をする人も多く、生徒は大変真剣に説明を聞き、進路実現のためにリサーチペーパー作成に取り掛かる気持ちができるようです。

### 「リサーチペーパー（個人論文）」執筆開始！

#### 【第2回～第6回 リサーチペーパー執筆】

4月14日（木）～5月6日（金）は、各自で執筆活動を進めていきました。執筆内容に悩む生徒は、教員に積極的にアドバイスをもらいに行ったり、図書室に置かれてある先輩のリサーチペーパーを参考にしたりして、完成に向けての見通しを立てていきました。また、今年度は生徒全員にChromebookが配布され、環境面で大変スムーズな執筆活動となりました。



### 【第7・8回 教員との進捗面談・国際シンポジウム発表生徒の活動】

5月13日（金）、27日（金）には、授業担当の先生方との進捗面談を行いました。生徒はリサーチペーパーの構想発表（序論や探究テーマ、テーマ設定の理由、探究の今後の見通し等）を行い、アドバイスをもらいました。先生方との面談を通して、執筆中に行き詰った部分や悩んでいることへのヒントを得ることができ、本論部分の執筆に取り掛かることができました。

また、7月12日の国際シンポジウムで探究活動を発表する生徒は、この時間を使って準備を行っています。普通科から3グループ、英語科から2グループが発表します。また、この発表は全て英語で行われます。



### 【第9、10回グローバル探究Ⅲ】

6月10日（金）～6月17日（金）は、先生方からのアドバイスを参考に、新たな資料の収集や修正を行い、6月17日（金）の中間提出後には、論文内で適切な引用ができているか、探究の手順をきちんと表記できているかなど、厳しいチェックを受けた後も、生徒は懸命に加筆・修正を行いました。



## 「リサーチペーパー（個人論文）」完成！

### 【第11回グローバル探究Ⅲ】

7月1日（金）は、リサーチペーパーの提出締め切り日でした。授業では、前回に引き続き今回も加筆・修正を行い、リサーチペーパーが完成しました。生徒たちは、探究内容を深め、自身の考えを現状と問題点を踏まえまとめ、それを文章にすることの難しさを感じたようです。また、探究活動をやり遂げた充実感を感じたり、新たな疑問や課題を見つけたり、新たな発見に気づいたりして、今後も探究を継続していこうとする意識の向上が見えました。

併せて、総括としてClassiを用いた振り返りシートへの記入を行い、リサーチペーパー作成の振り返りを行いました。今後のグローバル探究Ⅲの授業は、進路実現に向けての本格的な活動を行っていきます。

また、国際シンポジウムで発表する生徒も、発表の仕上げの段階になってきました。探究内容はもちろん、原稿を伝わりやすい英語に修正したり、パフォーマンスを確認したりして、準備に取り組みました。

### 【令和4年度 3年生 リサーチペーパータイトル(抜粋)】

普通科・理型	普通科・文型	英語科
資産運用の有効性	土佐清水市の過疎化問題について	日本の学生の学力向上のために
Go to トラベルは観光業の引き金となったのか	妊娠中の栄養と子どもの歯	地方空港の国際化
残薬ゼロの日本へ	なぜ紙媒体は無くならないのか	終了時間にルーズな日本
数学は将来役に立つ？	人生設計における選択肢と多様性	他言語習得における効率的な勉強方法
新たな天然繊維ミノムシの糸	なぜ日本の経済は回らないのか	オーバーツーリズムについて
がん検診受診率の低下について	教育活動を通して伝えるスポーツと社会性の関係	なぜ世界の共通言語は英語なのか
昆虫食と飢餓問題	食品貿易での食料ロスを活用した仕組みの提案	運動不足との向き合い方

## 【リサーチペーパー完成後・生徒の感想】

この論文を作成するにあたって、自分の頭の中で考えていることを文章化することの難しさを強く感じました。なかなか思い描いているように進まず、自分の考えに適した言葉を探すことに終始苦勞しました。



論文作成にあたり、自分の進路に関わることをテーマにしましたが、改めて自分の学びたいことについて知ることができました。AIに関して調べましたが、持っていたイメージだけでなく、多くのメリットやデメリットがあることを理解できました。

情報を集めることの難しさを感じました。相反する情報がインターネットに出てきたとき、それらを判断し情報収集することが特に難しかったです。また、参考文献を正しく記載するために、調べたものをメモして残しておくことも大切だと思いました。

将来の夢がはっきりとしていなくて、最初は何をするか全く決められなかったけれど、この論文を書いたことで深く考えることができました。子育て支援や産後支援は客観的にみると何も課題が無いように思えるけど、まだまだ課題はたくさんあり、それらを解決し、その方たちの役に立てられたいなと思いました。



リサーチペーパー作成のためのマニュアルには規定が多く、使うべきではない言葉などが多くあることを知った。その規定にしっかり則って、リサーチペーパーを作成することで、見やすくてわかりやすい論文が出来上がると感じた。

## 国際シンポジウム リハーサル

7月11日（月）、翌日の国際シンポジウムに向けてリハーサルを行いました。英語科の生徒全員と、探究活動のプレゼンテーションやパネルディスカッションに参加する普通科の生徒が参加し、本番に向けて念入りに確認を行いました。昨年度は客席から見ていた生徒たちも、ステージに上がると始めは緊張感に溢れていましたが、リハーサルをこなしていくうちに発表にも慣れ、納得がいくまで練習を続けました。

今年の国際シンポジウムは、高知西高校にとっては最後のシンポジウムとなります。細かい内容にも目を向け、良いものを作り上げようという気持ちが、全ての生徒から見とれました。

